



〈サロン・あべの〉4月の出会い

青葉若葉に爽やかな風薫る4月18日(土)午後1時〜4時、育徳コミュニティセンター2階・研修室に、ぼかぼかユニット「太陽」の上月陽平さんと笹山太一さんをお迎えして「春の演奏会」を開催しました。

笹山太一カメラマンが上月陽平さんの手に惚れこみ、モデルにと口説いたのがきっかけで、撮影を重ねるうちに、意気投合してぼかぼかユニット「太陽」が誕生することに。「太陽」は、太一の「太」と陽平の「陽」とを合わせたもの。

プログラム

笹山さんのギターの弾き語り、上月さんのカホーンのリズムに乗って明るく伸びやかな歌声でオリジナル曲をつぎつぎに披露。



熱演するぼかぼかユニット「太陽」の上月さん(左)と笹山さん

トークも交えての6曲に参加のみなさんは若者の世界に引き込まれました。

○インスト

○日曜日よりの使者

○音楽人生

○ぼかぼかユニット「太陽」の

テーマソング

○おかん

○JAM

カホーン

上月陽平さんは、絵を描いたり音楽をしたり、劇団「熊変」に役者として出演したり、幅広く活動しています。

学生時代より、音楽をやりたくて自分に合う楽器を探していたところ、7年前にやっとカホーンと出会いました。

ここで、専門的になりますが、カホーンのことについてちよっ

と。

楽器自体に跨って演奏される箱型のペルー式と呼ばれるものからコンガのように股に挟んで演奏されるキューバ式のもので、打面が木製である打楽器全般を指すのですが、上月さんは通常ペルー式といわれる、中が空洞の直方体の形をした木製のカホーンです。

側面に1つだけ打面を持ち、打面の反対の面にはサウンドホールが空けられています。打面は他の面より薄く作られています。打面の裏には弦がV字型に仕込まれています。これを仕込ませることにより特徴的なバズ音を得ることができるのです。

前頁の写真のように、楽器の上に跨って、楽器の打面やその縁を素手で叩いて演奏するのですが、打面の中央を叩くとバスドラムのような低い音になり、端の方を叩くとクローズドハイ

ハットのようないく音になります。打面でない面を叩くと中音域のサウンドを得ることができます。

上月さんの叩くカホーンの音は、なんとなく昔懐かしい趣のあるもので、単調なリズムの中にやさしさを感じられます。

ギター

笹山太一さんは、ギター演奏とボーカルでオリジナル曲を聴かせていただきました。

音楽は中学2年生の時に尾崎豊の曲に魅せられて、自分も同じように作って歌いたいと活動を始めました。その後、写真にも興味を持ち風景写真を撮りだし、山などにも行くようになりました。被写体も風景から人間へと興味に移り、人物を撮るようになりしました。そのモデルの1人に上月さんがいるんです。

今はコマースヤルフोट関係の仕事をしているのですが、詩や曲を作り、歌う活動もしています。

子どもころは、実家の商売を手伝われるのが恥ずかしくいやだったのですが、今ではその親に、自由に好きなことをさせてもらってきたと思うようになりしました。この感謝の気持ちを込めて作詞作曲したのが「おかん」です。

ぼつかぼかに

2人の気持ちが温かく、ユニットした「太陽」春の演奏会で出した。アンコールの声が大きく出て「おかん」を最後にもう1度聴かせていただきました。歌とギターとカホーンのリズムに魅せられ癒されぼつかぼかの時間を過ごすことができました。

(参加者20名 富田慶子)

晴れのち晴れ-128-

稲垣恵雄

□カルガモ一家

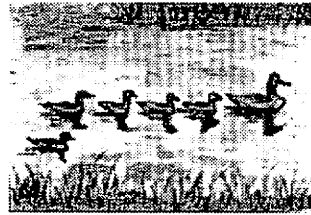
週に1度、私はヘルパーさんと小阪(東大阪市)のスーパーまで買い物に行くのだが、途中で長瀬川という川を渡ることになっている。この長瀬川は3級河川のごく普通の川だが、以前はゴミや泥が流れていて見るからに汚れていた。でも最近では整備、清掃されているので川の水もきれいになり、フナやコイなども棲むようになった。そして川に沿って遊歩道ができたので散策やジョギングを楽しむ人たちも増えてきた。

いつの頃からか定かでないが、毎年、5月の連休明けになると、カルガモ一家が泳いでくるようになった。カルガモはもともと東アジアの特産で、里ガモとも泥ガモとも言われている。体色はオスもメスも褐色で春先に水辺の草地に繁殖し、主に夜間に活

動する。

長瀬川に泳いでくるカルガモ一家は母ガモと生まれてまもなくの5匹の子ガモである。

前述したように5月の連休明けに長瀬川のそばまで行くと、橋の上や遊歩道から下を見ている人をよく見かける。私たちが釣られて橋の上から川面をのぞくと、母ガモとそのうしろから5匹の子ガモが縦1列に並んで水の流れとは逆に下流から上流に向かって泳いでいた。最初の内はきれいに並んでいるのだが、いつのまにやら1匹の子ガモが隊列を離れて道草をするのである。それを見た母ガモは子ガモがもどってくるまで待ってあげ、再び泳いで行くのだ。その様子がかわいくて私たちはしばらく眺めている。



絵がうたうー

絵とうたうー

童謡♪絵はがき

・春 海

・夏 花Ⅰ

・秋 花Ⅱ

・冬Ⅰ 子ども

・冬Ⅱ 雨

・汽車 川

・5月 母

・お正月

もらった人も、思わず、

歌いたくなる、うれしい、

楽しい「絵はがき」

童謡♪絵はがき

■5枚1組 ¥180

## 親の幼いころ



「おとうたん、おとうたん」  
 まだサ行の発音がうまくできない五歳になつたばかりの次男が私を呼ぶ声があると、私は、ちよつと一呼吸おいて、自分のなかで

も飛びつきりの優しい声をゆつくりと選んで「なあに」と答えるようにしている。

「おとうたんね・・・」「うん」

ほんのわずかだが、まだ吃音が残っているこの男の子には、話し始めるまでに少し間（ま）がある。その短い沈黙のあいだに、私は小さな両手をにぎりしめる。やわらかいそのこぶしを、私は二本の親指でさすつてみた。

「あのね・・・」「うん」

何年前かなら、そのとき、そのまま人形のように抱き上げても何も言わなかった。だが五歳にもなると、もう嫌がる。母親であれば、嫌がらない。どうしてお父さんが「ムギユ」をするか（つまり「抱きしめる」と）逃げたりするのかと聞いたことがあるが、答えはいつも同じ。「お顔が（ヒゲで）チクチクしているから」だそうだが、そんなのは言い訳だろう。妻に言わせれば「子どもは父親にはそういうことを求めている」のだそうだ。

ただ、私に背を向ける形で膝に座るのは嫌がらないから、そんなふうには後ろから抱きし

### \*好評のエッセイ\*

岡 知史著

知らされない  
愛について

700円

ほんの少しの  
神に近い部分

700円

めてみる。さらさらしたい匂いがしそうな髪の毛の上に私は、自分のあごを軽く載せて、そこから、上下にバタバタさせている裸足の小さな足を見ていた。

「あのね、おとうたんね、小さいころは、どうだったの?」「どうって?」「だからあ」と言つて、息子は笑いだす。「どうだったのって、聞いているの!」と言うと、まだケラケラと笑っている。私もつられて、ハハハッと笑う。どうだったって言われてもね、難しい問題だね。

だいたい五歳のころなんて、ほとんど覚えて



# 巴黎祭

—サンケイパリ祭—

## 日本を代表する 歌手による シャンソンの祭典

出演者=奥田真祐美・ほか  
 日時=7月23日(木)・24日(金)  
 開場18時00分  
 開演18時30分  
 会場=サンケイホールブリーゼ  
 入場料=前売¥6000  
 当日¥6500  
 ○  
 チケット取扱・ご予約・お問合せ=  
 奥田真祐美音楽事務所  
 TEL・FAX 06-6692-8774

いない。私は自分の父親にこんなふうに加えていたのだろうか。母親にはどうだったのだろうか。長男と比べて、次男は私似だと皆がいう。しかし、私は、この次男坊ほど走ったり跳(と)びはねたりが好きな子ではなかったと思う。私の父は、八十歳を超えてグループホームで生活している。いまごろ何をしているのだろうと、ふと思う。「お父さん、あなたの小さい頃は、どうでしたか」と聞いてみたい気がした。しかし私自身も五歳のころの記憶はない。八十をすぎた老人である私の父の幼い

姿を覚えている人など、もうこの世には誰もいないだろう。そう考えれば、親がどのような幼い子どもであったのかということは、子どもには永遠の謎なのである。子どもが生まれたときには、それはすでに手のとどかない地平の彼方にある。人は赤ん坊として生まれ、子どもとして育ち、オトナになり、老いて死んでいくのであるが、親は、いきなりオトナになり、そして老いて死ぬだけなのだ。考え込んでしまった私に、次男は「たとえば、眠っているだけなのである。」(知)

ばあ・・・と、例を出してくる。なんだ、小さい頃といつても私のことを聞いているのではない。本かテレビで見た動物のことを聞いているらしい。まあ、そうだろうな。私にも幼いころがあったなんて、この子には信じられないことだろう。私も常識的にそう信じているだけで、自分に五歳のときがあったという証拠はどこにもありはしない。あるとすれば、母と、ひよつとしたら父の記憶のはるかな奥底に

# Mai スウェーデン 留学記 30

## スイスへの旅②

スイス滞在も半ばにさしかかったころ、友人はドイツへ出張。私は、その間、友人の友達のお宅へお邪魔することになりました。スイス・チューリッヒを出発し、チューリッヒ湖を眺めながら電車で1時間くらいの場所。田園風景やのどかな放牧の風景を見ながら、スイスに帰ってきたなあと感じていました。ヨーロッパは私にとっては第2の故郷。小さいときの原体験があるため、言葉が通じない国に行ってもどこか懐かしさを感じます。ス

イスも2度目。子どものときに行った国、ドイツ、イタリア、スイス、オーストリア、ベルギーをもう1度訪れてみたくて、ドイツはもう数年前に何度か行っているため、一番好きなスイスを選んだのでした。目的の駅は、とても小さな駅。そして、そこで友人の友達に初めて会いました。彼女はインド人の男性と結婚して、小さな赤ちゃんはハーフのとってもかわいい男の子。初めてみる日本人の私をとっても興味津々で眺めていました。



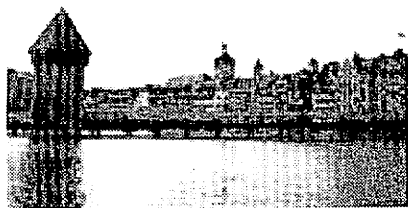
ラインの滝



ラインの滝をバックにスイス人の友人と

車で彼女の自宅へ行って、ランチを一緒に食べ、ランチになり、男の子の相手をしていました。朝は気持ちの良いくらいのお天気だったので、急に曇り始め、昼過ぎには大雨。本当は、晴れていたなら一緒に近くの動物園に行く予定だったのですが、あいにくの雨で、一緒にスイパーに行くことになりました。でも小さな子どもと過ごせたこと、そして何よりせっかくのお仕事が休みの日に、私のために時間を割いてくれたことが一番嬉しかったのです。この後、私は、別の友人と会う約束をして

いて、慌てて、お別れをしました。チューリッヒに戻ったのは夕方。私は、駅で待ち合わせして友人に会うことにしていました。同じスウェーデン語のサマーコースの友人。たった2週間しか一緒に過ごしていないし、クラスも違う私達でしたが、ずっとメールのやり取りをしていて、「スイスで会おう」ということになったのでした。オプシオンでのフィンランド旅行に一緒に行った友人。ダンスが上手で、帰りのフェリーの中のバーで、一緒に踊ったのがきっかけでした。彼女は首都・ベルンの近くに住んでいます。彼女はチューリッヒで、大学の近くに住んでいます。彼女が首都・ベルンで北欧文学を勉強しているので、大学の帰りに会うことになっていたのでした。会う



ルツェルンのカベル橋



ルツェルンの町並み



瀕死のライオン像（ルツェルンにて）

ことにしたのはいいのですが、実は顔もおぼろげ。待ち合わせの場所に時間ピッタリに着いた私は、とにかく思いだそうと必死でした。日本人は多くないからきつと向こうから見つけてくれると、そう願いながら。私の隣にも同じように待ってる女の子がいて、ふとした拍子に目が合った私達。もちろん、その女の子が友人でした。同時に、「あつ！」って叫んだ私達。すぐに抱き合って再会を喜び合いました。実は、スウェーデンにいたとき、彼女の髪はブロンド。再会したら黒髪に変わって、わからなかったのです。でも素敵な笑顔は変わらない・・・それから私達は、2

人一緒にカフェに行ったのでした。本当はもっとたくさん時間を取りたかったけれど、彼女が2時間しか一緒にいれないということなので。お腹がすいてなかった私は、コーヒートチョコレートパンを、お腹がすいていた彼女はランチをとということで、セルフ方式のお店に行きました。書いてあるドイツ語は全部彼女が英訳してくれて、助かったのを覚えています。私達は、お互いの近況報告やどんな勉強をしているのかとか、サマーコースの参加者と連絡をとっているのかとか話しこんでいました。

ふと気づくと、私達の隣の席からはスウェーデン語が聞

こえてきて、ビックリ。2人で顔を見合せて、笑いをこらえながら、「じゃあ自分達も」ということで、それま

で英語で喋ったのをスウェーデン語に切り替えて話し始めたのですが、まだ全部をスウェーデン語でというわけにはいきませんでした。もう今はお互い全部スウェーデン語で話せますが。一緒に日本でもとても人気のあるスウェーデン発のファッションのお店、H&Mで服を見たりして、楽しんでいました。2時間はあつと間。再会して別れるのは悲しいけれど、どこかでまた会えると思っていました（その通り、また会えました）。

雨でびしょぬれになりながら、でも本当に楽しい1日でした。友人の家に戻ると出張から帰った友人が待っていてくれました。

私は、その次の日、友人の職場のあるツークという街に行き、友人に街を案内してもらい、職場まで遊びに行つて、そのあと、観光地で有名なルツェルンという素敵な街に行きました。カベル橋が有名なルツェルン。火事で、半分は焼けてしまいましたが、今は修復されています。チョコレートをお土産に買ったのですが、なかなか物価の高いスイスはチョコレートも高いのです。友人に「お土産屋さんで買うな」と言われ、スーパー

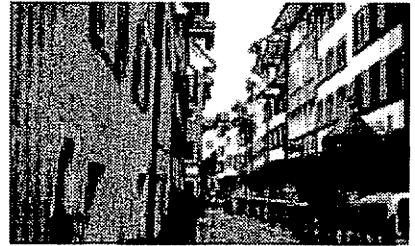
ーでお土産屋さんの半分ほどの値段で買うことができ、大満足。夜遅くチューリッヒに戻った私達は、街に出かけて、遅い夕食を済ませたのでした。スイス料理といえば、日本人ならチーズボンデュを思い起こすでしょうが、友人と話して、「あれは冬の食べ物。夏の今頃食べるなんて信じられない！」と一言。日本の観光客ならスイスといえば、季節に関係なく必ずそれを食べるんだという大笑いしていました。

スイス滞在最後の日は、友人夫婦と一緒にベルンへ。少し雨が降っていたのですが、素敵な街を見ながら心はワクワクでした。ベルンは首都といいながらも、小さい街で、チューリッヒの方が首都のように華やかです。友人に「ベルンとチューリッヒのどっちが好き？」と聞かれたので、「チューリッヒ」と迷わず答えたのでした。私達はお昼すぎまでベルンを散策し、そのあと、チューリッヒに戻るのだと思っていた私は、「今から、ラインの滝を見に行こう！」といわれて、ちよつとビックリでした。行動派の友人。もちろんラインの滝まで引つ張って行かれました。ライ

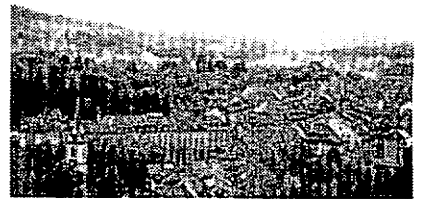
ンの滝はドイツを流れるライン川の上流。ドイツの国境に近い場所にあります。だから、この付近はスイスといっても少しドイツっぽいです。ブドウ畑がどこまでも広がる景色。建物もやはりドイツの影響を受けているように思います。

そのラインの滝は、冬の雪解けもあり、かなりの水量で、自然の美しさを感じると同時に、自然の偉大さを感じたのでした。私達は、渡し船で滝のすぐそばまで行き、帰りは、雨が激しく降ってきたので大慌てでチューリッヒに戻ったのでした。途中電車の中から、雨上がりの空にかかる虹の美しさは忘れられないものになっています。

ようやく友人の家に戻った私達。日本では普段歩かないのに、いつもヨーロッパにいる友達を訪ねると結構歩かされ、短時間で本当にたくさんものを見せてくれようとすると感でヘトヘトになるのですが、最後にいつも感謝の気持ちを込めて和食を作るようにしています。この時もあらかじめ用意していたもの



ツークの街

スイスの首都ベルン（ベルンの意味は「熊」  
ベルン州のシンボル旗は、熊が描かれています）

で、簡単な和食を作り、日本が大好きな友人は大喜び。食べた後、「デザート何がいい？アイスクリーム、チョコレートムース、ケーキ」というので、「じゃあチョコレートムース」って頼んだら、友人の旦那さまが、さつさと上着を着て出かける準備をしていたのを見て、「もしかして！」という私に、「もちろん今は全部ないの！」と大笑いの友人。またやられた！と思いました。いつも、いたずら好きな友人には、スウエーデンにいたときからかわれたり。年齢も離れてますが、世話好きな彼女は、自分に自信を持ち、キラキラと輝いて、尊敬することばかりでした。



お知らせ

<サロン・あべの>6月の出会い

内容…楽しい親子3代のフェスティバル  
 お客さま…加藤儀一さん=木芝居  
 竹上寛子さん=オカリナ  
 竹上佳那さん=腹話術  
 会費…なし  
 日時…6月20日(土)午後1時~4時  
 場所…育徳コミュニティーセンター2階  
 研修室(スロープ・車いすトイレ有)  
 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
 TEL 06-6621-1901  
 最寄り駅=  
 地下鉄御堂筋線「西田辺」(エレベーター有)下車すぐ  
 申し込み・問い合わせ先…  
 TEL 06-6691-1028 (富田慶子)

もちろん、買いに行ってくれたチョコレート  
 ムースはとても美味しかったです。

いよいよスイスを離れ、スウエーデンに戻  
 るという日。「スイスワインを売りたい」と  
 言っていた私に、「買っちゃダメ」と言った友  
 人。私に2本のワインを差し出しました。彼  
 女の旦那さまの実家は、ブドウ農家。そのブ  
 ドウで作ったホームメイドワインをいただい  
 たのです。知る人ぞ知る、スイスワインの美

味しさ。でもドイツのようにたくさん作って  
 いないので、輸出することができないので、  
 各国には出回っていません。とても貴重なワ  
 インをプレゼントとしていただき、最高の友  
 に出会えたことに感謝せずにはいられません

て、結局は山まで行けませんでした。それを  
 とても申し訳なく思っていたようです。山の  
 天気はとも変わ  
 りやすく、地上が晴  
 れていても、山に行  
 けば雨ということ  
 もあるので、山の様  
 子をずっとインタ  
 ーネットで見ては、  
 「やっぱり行けな  
 い」ととても残念が  
 っていました。でも  
 私は、こんなにたく  
 さんの街に行けて、  
 こんなに素敵な思  
 い出を作ってもら  
 って、これ以上の

ない素敵な旅、まさしくそれこそ神様がく  
 れた私への最高のご褒美だと思っていま  
 す。

空港まで送ってくれて、「また会おうね。ス  
 イスカ日本か、それかスウエーデンで！」と  
 言って、お別れのハグ。何度もまた会えると  
 は思うものの、やっぱりひとりでもまた飛行機  
 に乗って帰るのはさびしいものです。過ごし  
 た時間が楽しければ楽しいほど、切ない気持  
 ちになります。

あれから、3年が経とうとしています。何  
 人かの友人とは何度も再会したり、お互いの  
 国を歩き来したりしていますが、いつも「次  
 はいつ会えるのかな？」と考えてしまうので  
 す。私の人生のうちで、一体何回大好きな人た  
 ちに会えるのでしょうか？ そういえば、ス  
 イスを離れる前に約束させられました。「次  
 にスイスに来るときは、最低でも1カ月は滞  
 在しなさい。山に行かなきゃスイスに来た意  
 味が無い！」と。

人との出会いも奇跡的ですが、また再会す  
 るのも奇跡なのです。(清原 舞)

「邦子、…ん歳の手習い」はお休みです。

## 美智子のこんな話

岸田美智子

### アクションプラン学習会報告

前回このコーナーで書かせていただきましたが、障害者や高齢者の災害時の避難体制の仕組み作りについて取り組まれている西成区の担当者から、報告をしていただきました。

「もしもに備えて」というタイトルで、パンフレットもできていました。この動きがでてきたきっかけは、平成15年に西成区内で火事が多発し、老人などが死亡するという悲惨な状況が多発したことに対応の必要性がでてきたそうです。国の方でも、災害時の弱者へのガイドラインが作成され、それを参考に西成

区のアクションプランでも動き始めたそうです。

まず、全西成区民に申請書を配布したり、イベント会場で呼びかけたり、そしてまた区役所や消防署、社会福祉協議会などで随時呼びかけを行った結果、3700〜3800名くらいの申請があったそうです。呼びかけ対象としては、災害時に援護が必要な方、災害時の自力避難に不安がある方で、高齢者や障害者に妊産婦の方が対象になっています。この申請を元に約3000名の訪問調査を実施し、登録していったそうです。この訪問調査

しいため1年に1回、現状届けを配布して再登録を実施しているそうです。

この名簿を実際に災害時の支援プランに繋げていくことが必要なのですが、実際には難しいそうです。災害時の時間帯や場所などによって随時、避難経路などが異なってくるので不確定な要素が多いため、名簿をどのように利用していくかが今後の課題だそうです。以上のような内容でしたが、次回の高齢・障害者部会でも各地区の報告を受けて、学習会を今後も行っていく予定です。

### ありがとうございました。

には、区役所や消防署、社会福祉協議会はもちろん民生委員などが加わっていますが、国の雇用対策推進基金を利用して民間の業者に委託して行われたそうです。この登録者の3000名の内訳は9割が高齢者、1割が障害者となっているそうです。この名簿は、消防署や区役所、社会福祉協議会、民生委員などが管理しているそうです。西成区役所にも担当窓口ができ、職員が対応しています。登録者が亡くなったり、転居されたりと移動が激

ました。カンバ、冷茶・お茶菓子の寄贈、また、サロングッズのお買い上げなどありがとうございました。

カスターネット、楠下和子、こももネット・中谷邦子、近藤千枝子、富田萬里子、東百合子、東谷和代、平岡太、紅田蘭、町野旬子、宮崎隆正、山本鈴子、その他の方々。(敬称略)



6月はどこのサロンの、  
どのテーマが  
お気に入りですか。  
いい出会いませんか。

■「サロン淀川」6月の出会い

日時：6月21日(日)午後1時30分～4時  
内容：相手を思いやる心を持つことから始める  
-身近なことから社会を変える。オール  
ナイトごみひろいを実践-

ゲスト：塩山 諒さん

NPO法人スマイルスタイル・代表

会費：なし

場所：淀川区民センター「やすらぎ」

大阪市淀川区三国本町2-14-3

問い合わせ先：淀川区社協(ボランティア・ビュー  
ロー) ☎06-6394-2900

E-mail: sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にしよど」6月の出会い

日時：6月27日(土)1時30分～3時30分  
内容：未定

お客さま：未定

場所：未定

会費：なし

問い合わせ・申し込み先：

中本 ☎090-9864-9678

■サロン「アイ」6月の出会い

日時：6月13日(土)午後1時30分～4時  
内容：紙芝居

出演者：紙芝居「すみれの会」

会費：なし

場所：生野区在宅サービスセンター

「おかちやま」2階ボランティアルーム

大阪市生野区勝山北3-13-20

問い合わせ先：生野区社協(ボランティア・ビュー  
ロー) ☎06-6712-3101

○お知らせ：サロン「アイ」だよりの音訳テープが  
出来ます。ご希望の方は、西浦まで。  
☎06-6757-8574

■「サロン・にし」6月の出会い

日時：6月13日(土)午前10時30分～12時  
内容：災害や防災について学ぼう!

会費：なし

場所：西区在宅サービスセンター

「にしながほり」

大阪市西区新町4-5-14

☎06-6539-8075

問い合わせ先：宮脇淳 ☎090-3949-6973

■《てくてく・すみよし》6月の出会い

日時：6月13日(土)午前11時～

内容：お好み焼き

場所：あびさん

大阪市住吉区我孫子3-4-16

会費：1000円

申し込み締切：6月5日(金)

申し込み・問い合わせ先：

山本篤江 ☎06-6692-8411

携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」6月の出会い

日時：6月7日(日)午後1時30分～4時

内容：盲導犬と歩んで来た道

ゲスト：宇根山千恵子さん

場所：鶴見区民センター3階

大阪市鶴見区横堤5-3-15

会費：なし

問い合わせ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)

奥井 ☎06-6913-7070

■「サロンいたみ」6月の出会い

日時：6月13日(土)午後2時～

内容：フルートとピアノの音楽会

会費：なし

場所：伸幸苑 伊丹市寺本6-150

問い合わせ先：安藤れい子 ☎072-784-1718

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で(サロン・あべの)紙第274号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) (サロン・あべの)紙は、第1号より第274号までそろっています。
- (b) (サロン・あべの)十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「(サロン・あべの)平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著=糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著=糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著=糸でんわ音訳DJ)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧ロー二著=糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著=糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著=糸で

んわ音訳DJ)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修=大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著=ぱけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソンの手帳」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳DJ)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著=糸でんわ音訳DJ)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著=糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行編・著=糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン!」(稲垣恵雄著=糸でんわ音訳DJ)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博=糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著=糸でんわ音訳)
- (v) 富田慶子出演の「ちょっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ  
ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。音訳の後のDJ印はディジー録音。

寄りみち



■童謡♪絵はがき・早春賦。吉丸一昌は、貧しいが故に勉強することが出来ない人達のために「修養塾」を開設し、教育、衣食住、就職すべての面倒をみました。そして「唱歌」を新しくし、童謡運動のきっかけとなる「新作唱歌」を発表したり、長編童話なども書きました。そんな親分肌で才能に溢れた吉丸が、大正の初め長野県安曇野を訪れ、穂高町あたりの雪解け風景に感銘を受けてこの詞を書いたとされています。曲名の「早春賦」が示すように、暦の上では立春が過ぎ、人々の心の中には春が来ているのに、現実の春はなかなかやってこない、厳しい冬から希望に満ちた春を歌い、人々にエールを送っているように思えます。(石)

<サロン・あべの>VOL. 275 発行:平成21(2009)年5月16日 定価¥100  
 編集人:<サロン・あべの>運営委員会 表題:中西利香・筆 文中イラスト:石田美禰子  
 事務局:〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座:サロン・あべの 00950-9-26941  
 印刷:セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
 ホームページ: <http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/> 「サロン あべの」でも検索できます